

4つの特色

POINT 01 現場に即した教師力を育成

学部卒生と現職教員院生が**共通科目**を通して、学校現場とも共通する**互恵的関係**の中で学びます。共通科目には教育課程、教科指導、生徒指導、学級・学校経営、学校教育と教員の在り方などがあります。

POINT 02 専門的な力を育成

幅広い専門的視野と実践の開発力を育成する**コース別科目**は、各プログラムの求める人材像に沿って講義・演習形式で行われます。広く深い**専門的知識**を得ます。

POINT 03 学校現場の課題を解決する力を育成

修士論文にあたる2年間の**課題演習**を通して、学校現場の課題に即した実践研究に取り組みます。校長経験者の**実務家教員**と実践研究に詳しい**研究者教員**が実践研究を導き支えます。

POINT 04 さまざまな場を横断した豊富な実習

2年間で**特別支援学級**、**適応指導教室**、**普通学級**、**特別支援学校**、**在籍校**などの**学校における実習**を行います。実践力だけでなく学校を俯瞰することで**連携力**を育み**地域や学校現場で中核**となっていくような力を育成します。

挨拶

本学教職大学院は、令和7年度に新たに特別支援教育向上コースを新設いたします。このコースは、近年の特別支援教育に関する理解や認識の高まりを受け、特別支援教育に関わっている先生方、特別支援教育に関心をおもちの学生さんにとって、理論と実践を融合させた充実したカリキュラムを通して、より高度で専門的かつ実践的な力量を形成していくことを目指しています。これからの特別支援教育をリードしていく皆様、ぜひとも本学教職大学院特別支援教育向上コースへの入学をお待ちしております。

教職実践専攻 主任 坂井 清隆



今まで特別支援学校の現職教員を対象にした教職大学院のプログラムは用意されていませんでしたが、ついに令和7年度から新設されることとなりました。そこに大学新卒者を対象にした特別支援教育高度実践力プログラムと、既存の特別支援教育推進コーディネータープログラムを加えた新しいコースとなります。障害のある子どもの教育を担うための専門性を高める授業科目と実践力を向上させるさまざまな実習科目を用意しています。

スクールリーダーシップ開発コース主任 中山 健



入試情報

出願期間、試験日程などの詳細は、必ずホームページ、募集要項(令和6年6月下旬公開予定)をご確認ください。

学部卒業者対象

特別支援教育高度実践力プログラム

【対象者】学部卒業者(卒業見込みの者を含む)および社会人等で、小・中・高等学校いずれかの教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状を有する者および令和7年3月までに取得見込みの者

現職教員対象

特別支援学校リーダープログラム

【対象者】小・中・高等学校いずれかの教諭一種免許状および原則、特別支援学校教諭一種免許状を有する者*で、下記の①または②を満たす者

※特別支援学校教諭二種免許状の取得者については、都道府県教育委員会等又は所属長が受験を認めた者については、出願を認める(教諭一種免許状取得者のみが専修免許を取得できる)。

特別支援教育推進コーディネータープログラム

【対象者】小・中・高等学校いずれかの教諭一種免許状を有する者で、下記の①または②を満たす者

- ① 本学教職大学院入学時において、現職教員及び教育関係諸機関に常勤職員として在職している者で、令和7年3月末日時点で原則として5年以上の教職経験(常勤講師の経験を含んでもよい。)を有する者(現職教員には幼稚園教諭や保育所勤務の保育士は含みません。)または、この教職経験の年数に該当しない場合で、都道府県教育委員会等又は所属長が受験を認めた者
- ② 「①」に相当する教職経験を有する社会人

説明会・個別相談

今年度の説明会は、6月22日、8月17日、10月12日に開催します(対面・オンライン)。個別相談は対面・オンラインで行っています。詳細は、下記QRコードのホームページをご覧ください。



教職大学院
説明会・個別相談

福岡教育大学教職大学院

検索

教職大学院事務室

TEL : 0940-72-6012

E-mail : grdsptch@fukuoka-edu.ac.jp

2025年4月 教職大学院に 特別支援教育 向上コース 誕生！



国立大学法人
福岡教育大学
University of Teacher Education Fukuoka



特別支援教育向上コース

学部卒業生対象

特別支援教育高度実践力プログラム (3名)

新設

特別支援学校教員として高度な実践を行なえる人材の育成を目指します。

特別支援学校教員として自立活動の指導や指導計画を立案・実行できる力量をつけます。特別支援学校の教科や領域について専門的な理解を深め、教育内容と指導方法を有機的に結びつけて授業等を効果的に展開できる**高度な実践力**を養います。

【授業科目例】

障害のある児童生徒の理解と合理的配慮
特別支援教育の教育課程と個別的教育支援計画・指導計画
特別な教育的ニーズの把握
特別支援教育実践実習B
特別支援学校TA実習I

現職教員対象

特別支援学校リーダープログラム (2名)

新設

特別支援学校の支援体制を推進できる
スクールリーダーの育成を目指します。

自立活動の専門性、教育実践の力量を高め、特別支援学校での**特別支援教育**を体系化でき、教育・医療・福祉・労働の関係機関をコーディネートし、**地域の学校**に特別支援教育の教育実践や指導の改善を**指導・助言**できるリーダーを育成します。

【授業科目例】

自立活動の理論と心のバリアフリーの実践
自立活動の展開と指導法
特別な教育的ニーズに基づいた指導の実際
特別支援学校異校種実習
自立活動実践実習B

特別支援教育推進コーディネータープログラム (3名程度)

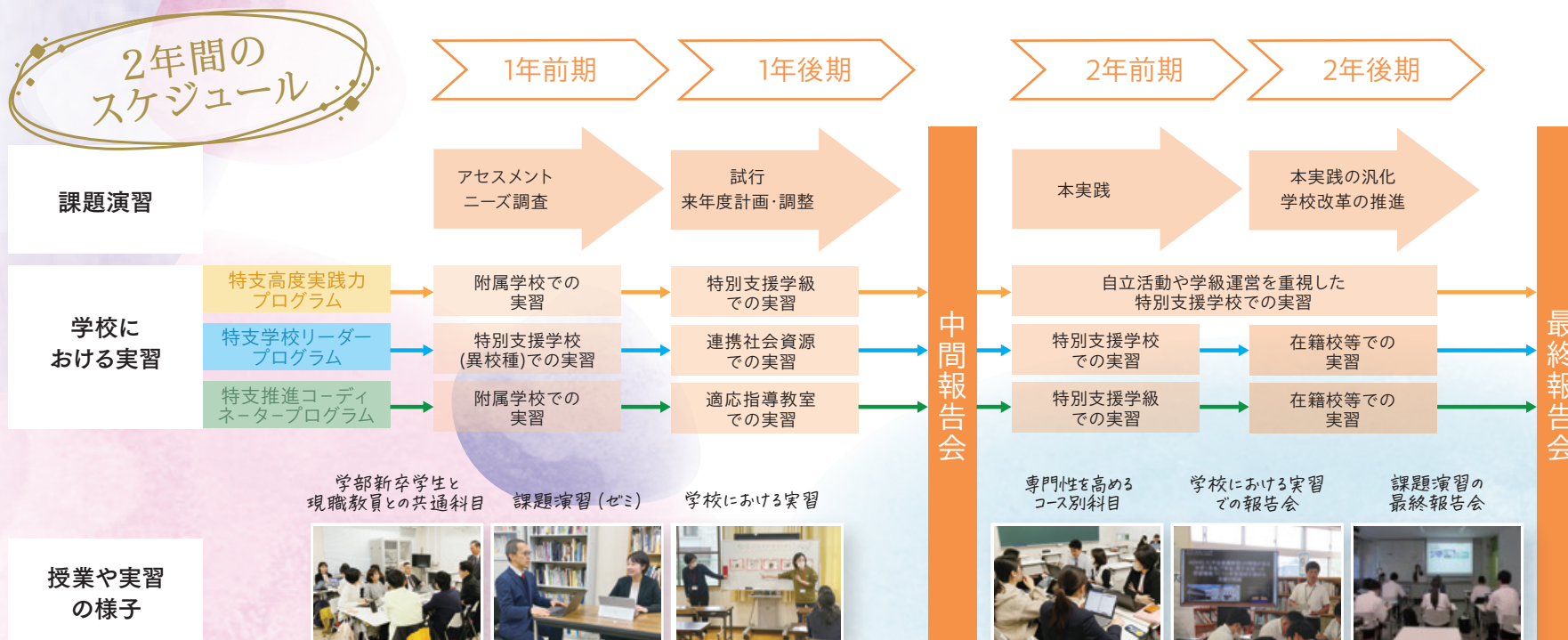
※スクールリーダーシップ開発コースより再編

通常の学級・通級指導教室・特別支援学級での特別支援教育を推進できるスクールリーダーの育成を目指します。

特別支援教育コーディネーター等として各学校の特別支援教育の学校体制づくりをリードし、教育や福祉の**関係機関**をコーディネートし指導的役割を果たすことができるリーダーを育成します。

【授業科目例】

障害のある児童生徒の理解と合理的配慮
特別支援教育における支援の活用と連携
発達援助の理論と実践
学校カウンセリング実習B
特別支援教育アセスメント実習



授業科目紹介 特別支援教育実践実習B



本実習は、福岡教育大学附属福岡小・中学校の特別支援学級で行う実習です。
個に応じた指導の実際を、学級担任補助として体験的に学びます。また対象児童生徒の個別の指導計画を作成したり、指導案をもとに教科等の授業を行ったりします。特別支援教育にかかる実践的な指導力の育成を目的としています。

院生の声



恒成 尚江 さん 福岡県立小倉聴覚特別支援学校
スクールリーダーシップ開発コース
特別支援教育推進コーディネータープログラム所属

教職大学院に入学して1年が経ちました。この1年間は<考える>ことに対峙した日々でした。今日の教育的課題を自分事として捉え、新人院生、現職院生共に議論したことは得難い経験です。これまで曖昧に理解していたことや漠然と認識していたことが講義や実習等を経るごとに明確になっていく感覚も味わうことができました。この1年間の学びは実に多様で、1日たりとも同じ学びはなかったことが印象的です。